

これからの季節 最も身近な感染症 インフルエンザ

＜保健科学担当＞

インフルエンザの流行発生が心配される季節になりました

インフルエンザ予防の基本は流行がはじまる前にワクチン接種を受けることです。ワクチンを接種することにより、重症化防止の効果が期待できます。また手洗い・うがいは物理的にウイルスを除去することができるため有効です。室内の湿度を適度に保つことや、外出時にマスクを着用することも大切です。不必要な外出や人混みを避け、バランスのよい食事や十分な睡眠をとることを心がけましょう。

新型インフルエンザの発生に備えて

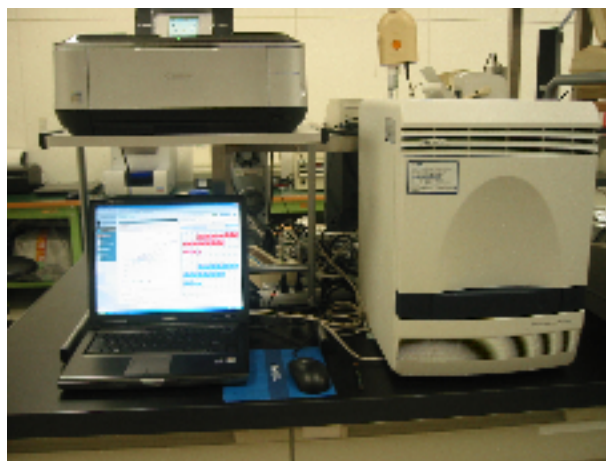
2009年に発生した新型インフルエンザは、2011年4月から通常の季節性インフルエンザとして取り扱われています。しかし、次の「新型インフルエンザ」は、またいつ発生するかわからず、常に備えておく必要があります。

徳島県内の定点医療機関から当センターに集められたインフルエンザを疑う検体は、リアルタイムPCR等を用いた遺伝子検査およびウイルス培養による分離・同定を行い、亜型検査を実施しています。

新型インフルエンザが発生した場合、徳島県における確定検査機関である当センターでは、高度安全実験室(P3)を用い、迅速に検査結果が出せるよう体制を整えています。



高度安全実験室(P3)



リアルタイムPCR装置

徳島県感染症情報センターをご活用ください

徳島県感染症情報センターでは、毎週県内医療機関から寄せられた感染症情報を収集し、国立感染症情報センターへ送るとともに、全国の情報もあわせ解析を行っています。その結果を医療機関・各自治体・マスコミ等へ情報提供し、治療や感染拡大防止に役立てていただいております。また当センターホームページ内にも掲載して広く皆様に役立てていただきたいと思います。

情報は、毎週更新されております。集計・解析した結果を週・月・年ごとにまとめた発生動向調査情報の他に、今注目すべき感染症について特集した流行情報、トピックス等も掲載しています。

ぜひ、ご家庭や職場での感染症予防にお役立てください。

徳島県感染症情報センターのアドレス (<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2004062300038/>)